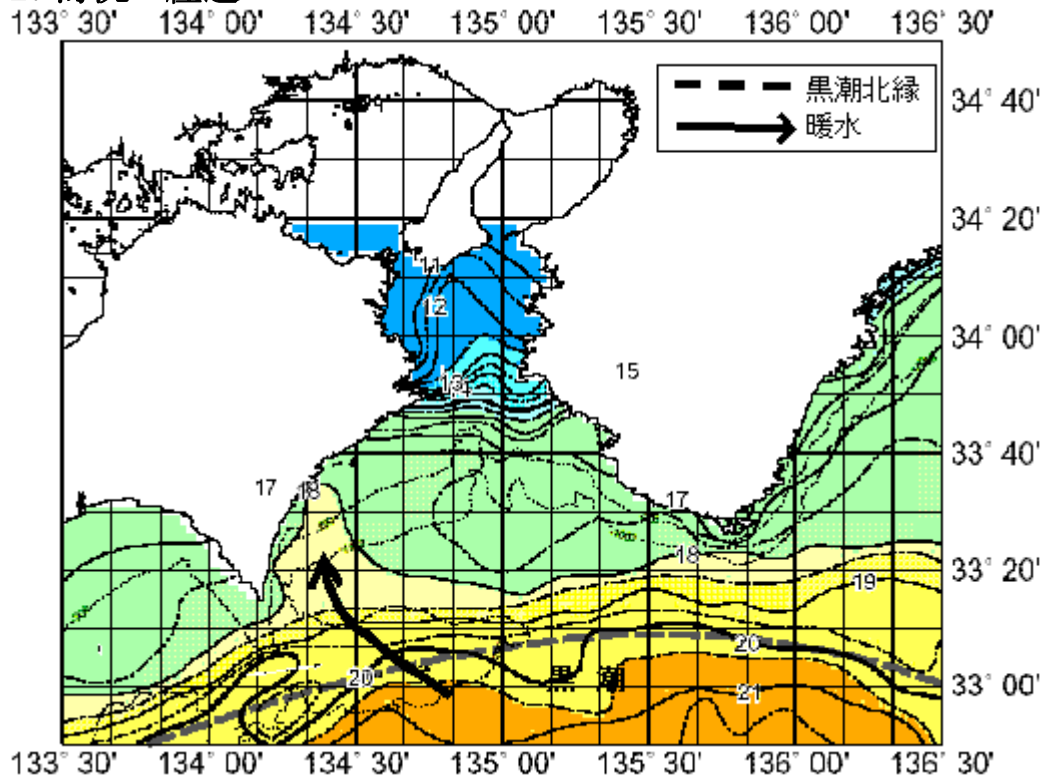


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.1.26)を示した。

黒潮は、先週に引き続き離岸傾向であり、潮岬沖、室戸岬沖でやや離岸している。

室戸岬以西の黒潮も、都井岬沖と足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮は、潮岬沖でやや離岸、室戸岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、足摺岬沖で接岸、都井岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は19～21℃台である。

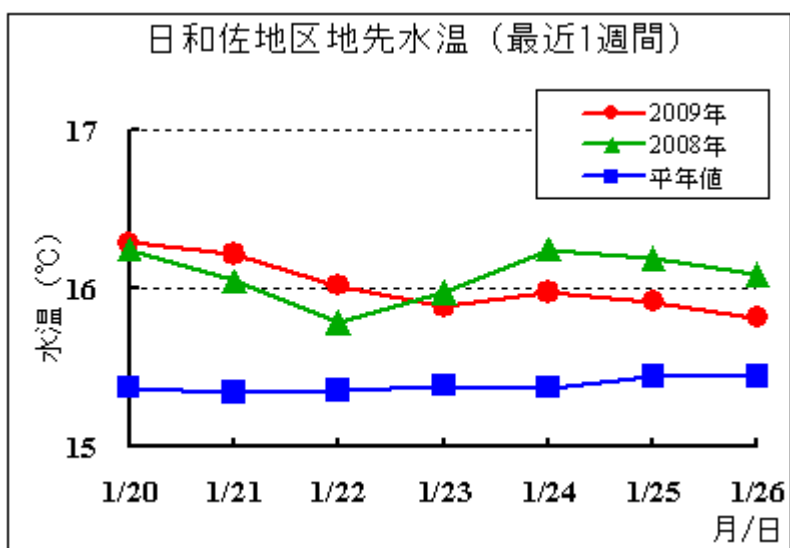
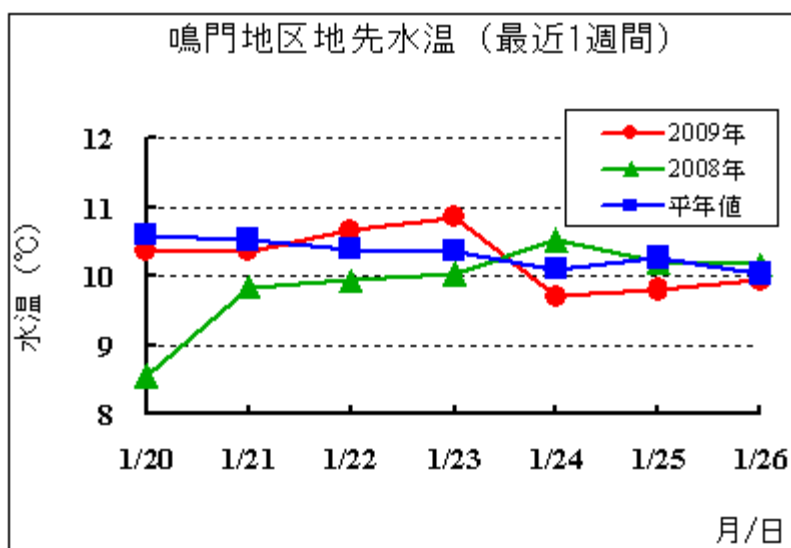
表面水温は播磨灘が9～10℃台、紀伊水道が10～13℃台、外域が14～17℃台である。

紀伊水道外域では、20日頃から暖かな黒潮系水が室戸岬沖から海部沿岸下灘を北上し、海部沿岸上灘から和歌山県側に向け流入している。

暖水が、徳島県側から波及しているため、紀伊水道内の冷たい内海系水は、海部沿岸に流出していない。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「やや高め」の9.7～10.9℃、日和佐地区は「やや高め」の15.8～16.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の15.3～17.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、カワハギが0.4トン(1日1隻当たり30kg)、特大主体にゴマサバが0.3トン(同54kg)水揚げされた。

**建網:**海部沿岸で、ヒラメが0.3トン(同10kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.3トン(同19kg)、カタクチイワシが0.9トン(同95kg)、スルメイカが0.2トン(同53kg)、小主体にマアジが0.5トン(同12kg)、マルソウダが0.4トン(同20kg)、メジナが0.5トン(同167kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、カンパチが0.5トン(同509kg)、小主体にタチウオが0.4トン(同395kg)、マルソウダが1.2トン(同1.2トン)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.7トン(同8kg)、大主体にゴマサバが1.7トン(同80kg)、タチウオが0.9トン(同72kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 1月19日～1月25日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	カワハギ	12	360	30	
		ゴマサバ	6	323	54	特大主体
建網		ヒラメ	31	325	10	
小型定置網		アオリイカ	17	331	19	
		カタクチイワシ	10	945	95	
		スルメイカ	4	213	53	
		マアジ	39	463	12	小主体
		マルソウダ	21	418	20	
		メジナ	3	500	167	
大型定置網		カンパチ	1	509	509	
	タチウオ	1	395	395	小主体	
	マルソウダ	1	1,210	1,210		
釣り	アオリイカ	93	717	8	大主体	
	ゴマサバ	21	1,675	80	大主体	
	タチウオ	12	866	72	大主体	

週間予報:

黒潮は、室戸岬で接岸からやや離岸、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の9℃台、日和佐地先で「やや高め」の15℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄釣りで、カツオが11.9トン(1日1隻あたり19kg)、キハダが1.8トン(同3kg)、ビンナガが5.7トン(9kg)、釣りでスルメイカが0.4トン(6kg)、サバが1.6トン(同22kg)、イサキが0.5トン(7kg)、パッチ網でシラスが24.2トン(同404kg)水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上